

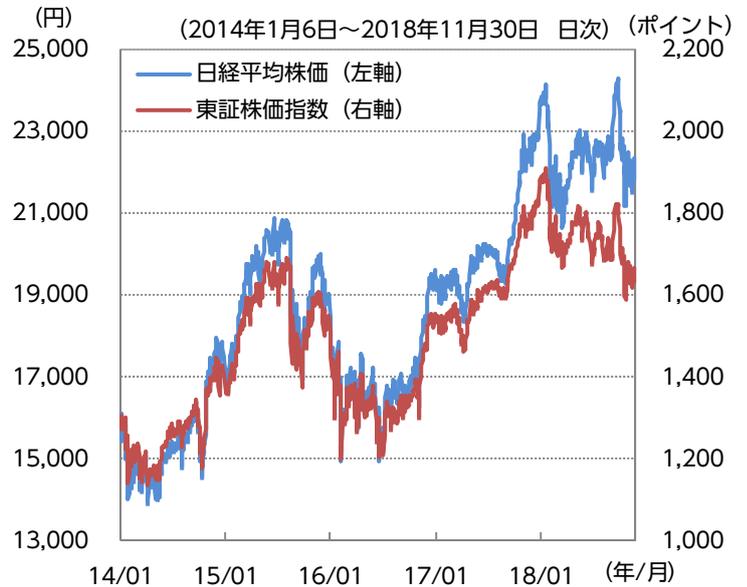
週間市場レポート

(2018年11月26日～11月30日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ終了が想定よりも早まるとの思惑や、週末に開催される米中首脳会談において、通商交渉に進展が見られるとの期待感から、前週末から引き続き6営業日続伸となりました。（週末引け値：22,351.06円）
- 週間では、日経平均株価は3.25%の上昇、東証株価指数は2.36%の上昇でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。米利上げが早期に終了するとの観測が広がり、米長期金利が低下したことを受け日本国債は買いが優勢となりました（利回りは低下）。（週末引け値：0.092%）。
- 週間では、0.008%の低下となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。パウエルFRB議長の講演会における『（足元の政策金利は）中立より若干低い』等の発言がハト派*的と捉えられ、利上げが想定よりも早く終了するとの観測が広がったことから、株価は大きく上昇する展開となりました。（週末引け値：25,538.46ドル）
※金融緩和推進派
- 週間ではNYダウは5.16%の上昇となりました。

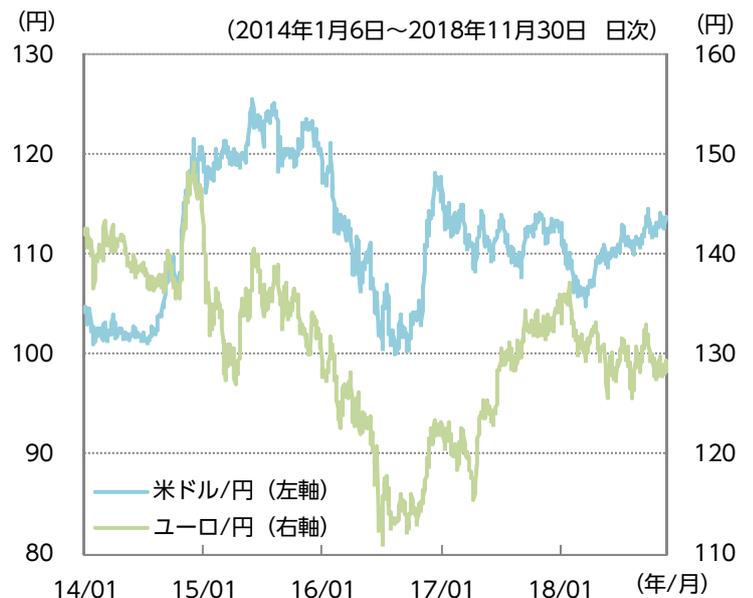


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。週初は日経平均株価の上昇に歩調を合わせた円売り米ドル買いが進行しました。パウエルFRB議長のハト派的な発言を受け週中は円買いが進行したものの、週末は米中首脳会談において、通商交渉への進展期待から円売り米ドル買いが優勢となりました。（週末引け値：113円35銭～45銭）
- 週間では米ドル/円は0.54%の円安、ユーロ/円は0.30%の円安となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>